

## インターバンクの声（2015年10月14日）

大幅な下落となったわけではないが、欧米の株価が全般的に値を下げ、為替市場ではドルが対円で上値が重くなり、堅調地合いが続いていた豪ドルやニュージーランド・ドルも値下がりをした。先週、国慶節の休暇が明けて以降、中国経済の先行き不安も少しずつ解消されていくと思われていたが、昨日発表された9月中国貿易収支の内容から輸出・輸入ともに落ち込んでいる実態が浮き彫りとなってしまった。これではとても中国経済の減速懸念が収まってくれそうもない。どれだけ影響するのか不透明だが、本格化している米7-9月期の企業決算にも響く部分があるかも知れない。対中貿易額の割合が大きい豪州やニュージーランドの通貨が売られるのも無理はない。先週のG20財務相・中央銀行総裁会議でも、中国の樓財政相や周人民銀行総裁は、各国首脳からの中国経済への不安への問いかけに対し、向こう10年くらいは厳しい状態が続く可能性も示唆したようだ。中国経済が7月以前のような状態に戻るの無理との前提で今後を考えたほうが良さそうだ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。